

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【公表番号】特表 2019-536532 (P2019-536532A)

【公表日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-051

【出願番号】特願 2019-523866 (P2019-523866)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

A 6 1 M 25/098 (2006.01)

A 6 1 B 18/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

A 6 1 M 25/01 5 1 0

A 6 1 M 25/098

A 6 1 B 18/18

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 6 日 (2020.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織を穿刺するアセンブリであって、

組織を穿刺する実質的に可撓性の穿刺デバイス、および

前記実質的に可撓性の穿刺デバイスを支持する支持部材を備え、

前記実質的に可撓性の穿刺デバイスは、交換および位置決めを容易にするために、組織を穿刺する処置の一部の間、前記支持部材と協働して選択的に使用可能であるように前記支持部材内に選択的に挿入可能であり、処置の別の部分の間、前記支持部材から独立して使用可能であるアセンブリ。

【請求項 2】

前記実質的に可撓性の穿刺デバイスは、組織を穿刺するための、エネルギーを送達するように動作可能なエネルギー送達デバイスを備える請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

前記支持部材は、補強された拡張器を含み、前記拡張器は、

補強部材と、

前記補強部材を実質的に取り囲む 1 つ以上のポリマー層を含む請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記補強部材は、ハイポチューブを含む請求項 3 に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記 1 つ以上のポリマー層は、内側ポリマー層および外側ポリマー層を含む請求項 3 または 4 に記載のアセンブリ。

【請求項 6】

前記補強部材は、前記内側ポリマー層と前記外側ポリマー層との間に配置される請求項

5 に記載のアセンブリ。

【請求項 7】

前記支持部材は、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスに十分な剛性を提供して、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスが挿入されたときに、前記アセンブリの前進および位置決めのために、前記アセンブリの遠位端に十分な力伝達を可能にする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

前記支持部材は、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスが挿入されたときに、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスに十分な剛性を提供し、トルクが前記アセンブリの遠位端に伝達されることを可能にする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

前記支持部材は、標的組織部位に対する前記アセンブリの位置を最適化するために、前記支持部材の湾曲が再成形され、それとともに再挿入されることを可能にするために、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスから除去されることを可能にするように成形可能である請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 10】

前記支持部材は、支持部材放射線不透過性マーカを含む請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 11】

前記支持部材は、支持部材放射線不透過性マーカを含み、前記マーカは、その遠位先端に 1 つ以上のポリマー層内に埋め込まれた放射線不透過性コイルを含む請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載のアセンブリ。

【請求項 12】

前記実質的に可撓性のエネルギーベースの穿刺デバイスは、
デバイスの遠位端にあるデバイス放射線不透過性マーカを備え、
前記デバイス放射線不透過性マーカは、前記支持部材放射線不透過性マーカと協働して、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスの相対位置を示すように構成される請求項 10 または 11 に記載のアセンブリ。

【請求項 13】

処置の一部の間、前記補強された拡張器と共に使用するシースをさらに備え、
前記アセンブリは、前記拡張器の前記シースとの軸方向および回転方向の結合を可能にするロック機構を更に備える請求項 3 に記載のアセンブリ。

【請求項 14】

前記アセンブリは、
第 1 の構成では、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスは、前記デバイス放射線不透過性マーカが前記支持部材放射線不透過性マーカと整列するように、前記支持部材内に位置決め可能であり、
第 2 の構成では、前記実質的に可撓性の穿刺デバイスは、前記デバイス放射線不透過性マーカが、前記支持部材放射線不透過性マーカと実質的に整列しないようにそして遠位で、支持部材内で前進可能であり、
前記第 2 の構成は、組織の穿刺のために標的組織部位に対して位置決めするために、前記支持部材を越えて前記可撓性の穿刺デバイスのエネルギー送達部分の位置決めを示す請求項 12 に記載のアセンブリ。

【請求項 15】

前記実質的に可撓性の穿刺デバイスは、遠位電極先端を備える R F ガイドワイヤを備える請求項 1 に記載のアセンブリ。